



補習校だより

平成27年度 第15号

平成27年8月22日発行

マイアミ補習校

校長 實藤 哲夫

事務（携帯） 305-505-6493

校長（携帯） 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail miamihoshuko@hotmail.co.jp

朝読書

補習校の子ども達にとっての、日本語図書を読む意義・効果としては、次のことが挙げられます。

- ①日本語の調子に接し続けることができる。
- ②語彙・語法の保持・伸張に役立つ。（「学力を伸ばす」ことにつながる）
- ③日本的な価値観やアイデンティティの保持・形成に役立つ。

本校が月に1度、年間8回の全校一斉朝読書の時間を設定しているのは、日本語力の育成を図ることが目的です。この時間に、絵本や物語、伝記などの文章をたくさん読んでほしいと思います。漫画については、日本語のあまり得意でない子どもにとっては、総ルビなので一人で読み通せることとなりますから、結果的には上記の効果をもたらします。しかし、朝読書を始め補習校の時間は教育の場ですから、漫画でない本（学習漫画は許可）を読むように指導しています。（持ち帰って自宅で読むことは構いません。）



【図書室に新しい本！】

図書室には沢山の本が揃っています。日本語図書をいっぱい読んで、日本語力を高めてほしいものです。図書担当さんから新しい本の一部を紹介していただきました。手に取ってみてください。

★幼稚部向け：「からすのそばやさん」 かこさとし作・絵

（ロングセラー「からすのぱんやさん」の続きの絵本。子どものからすたちはそれぞれ成長し、そのうちの一羽、オモチくんはそばの作り方の修行に励み、楽しいおそばがいっぱいのお店を開きます。）

★低学年向け：「はこぶ」 鎌田 歩作・絵

（今年の読書感想文課題図書に選ばれた絵本。時代がかわると、「はこぶ」ものはどうかわっていくか。いろいろ登場します。親子で見ても読んでもおもしろい本。）

★中学年向け：「大どろぼうホッツェンプロッツ三たびあらわる」 フロイスラー作

（人気の前作、1、2巻はハードカバーで図書室にあります。待望の3巻は文庫版で入りました。今度は、大どろぼうホッツェンプロッツが、どろぼうをやめて、森の中で料理店をはじめのお話。カスパールとゼッペルのふたりは、今度はホッツェンプロッツを助けて活躍します。）

★高学年向け：「子ぎつねヘレンがのこしたもの」 竹田津 実著

（著者の竹田津さんは獣医さん。保護され診療所につれてこられた子ぎつねはヘレンケラーのように三重苦でした。その介護の記録です。過去、映画化もされています。）

★中学生向け：「マララ・教育のために立ち上がり、世界を変えた少女」 マララ・ユスフザイ著

（マララさんの一番新しい本が、今年の読書感想文課題図書に選ばれていました。大きめの字で漢字には振り仮名もついています。写真も沢山ついています。厳しい環境でも学ぶことをあきらめない、世界の同世代の子ども達について、みんなに知って欲しいです。保護者の方もぜひ。）